

## 先週・今週(5月7日から5月15日)の短期金融市場動向

### ●無担保コール市場

無担保コールO/N物については、引き続き堅調な資金調達ニーズが継続したため、出合いレートに大きな変化はなく、0.727~0.728%近辺での推移が続いた。加重平均レートは、0.727%程度で推移し、15日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物については、前週に続き、保険業態による付利金利以下での運用と、証券業態による実需の調達が中心となった。

日銀当座預金残高は、7日(木)に税・年金保険料の支払い等に伴う財政等要因が8兆円程度の大幅な不足(マイナス)となったことで、458兆円台に低下してスタートした。翌8日も財政等要因が大幅な不足となり、残高は454兆円台まで減少した。両日とも資金需給予想との乖離が極めて大きかったことから、市場では政府・日銀による為替介入が行われたとの観測が強まった。その後、13日(水)には国債発行要因により452兆円程度まで減少したものの、15日(金)は週初と同水準の453兆円程度まで回復する見込みとなっている。

### ●債券レポ市場

GC T/N物は0.755~0.76%近辺で推移した。

SC取引の個別銘柄では、カレント近辺の銘柄に引合いが多く見られた。

### ●短国市場

短国市場は、6月の利上げを一定程度織り込み、レートは上昇基調となった。

7日の6M入札は無難な結果となったものの、セカンダリーでは軟調に推移。また、8日の3M入札も無難な結果に留まり、セカンダリーでは小甘い展開となった。一方、15日の3M入札は事前予想より強めの結果となったことを受け、セカンダリーでは底堅く推移した。

### ●CP市場

CP市場は、ゴム製品、電気機器、不動産、建設業等複数の業態で大型発行が実施された。

市場残高は、週を通しておおむね23兆円台前半~半ばで推移した。

発行レートは引き続き0.75%以上で推移し、銘柄や期間によって投資家の運用目線にばらつきがみられた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/7 (木)	62,833.84	2.475	156.35	0.727	0.754	4,585,800
5/8 (金)	62,713.65	2.475	156.99	0.727	0.755	4,543,500
5/11 (月)	62,417.88	2.520	157.00	0.726	0.754	4,536,300
5/12 (火)	62,742.57	2.540	157.69	0.727	0.754	4,540,700
5/13 (水)	63,272.11	2.585	157.77	0.727	0.754	4,520,600
5/14 (木)	62,654.05	2.630	157.85	0.727	0.754	4,531,500
5/15 (金)	61,409.29	2.699	158.50	0.727	0.754	4,529,900

## 翌週（5月18日から5月22日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
5/18 (月)			5Y物 5/19発行 25,000億円	
5/19 (火)	1-3月期のGDP1次速報(内閣府 8:50) 3月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 3月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TDB1Y 5/20発行 30,000億円		交付税借入 5/27借入 11,000億円
5/20 (水)			20Y物 5/21発行 7,000億円	4月のユーロ圏消費者物価指数改定値 4月の英消費者物価指数
5/21 (木)	小枝日銀審議委員 福岡県金融経済懇談会における挨拶 3月の機械受注統計(内閣府 8:50) 4月の貿易統計(財務省 8:50)			交付税借入 5/29借入 11,000億円 4月の米住宅着工件数
5/22 (金)	4月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TDB3M 5/25発行 44,000億円	流動性供給 5/25発行 6,500億円	

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/18 (月) 日銀予想	1,300	▲1,200	100	国債補完 国債買入	1,200 5,300		6,500	6,600	TB3M発行▲44,000償還47,000
5/19 (火) 弊社予想	1,000	▲28,000	▲27,000				0	▲27,000	5Y発行▲25,000
5/20 (水) 弊社予想	500	4,000	4,500				0	4,500	TB1Y発行▲30,000償還32,000 エネルギー借入▲7,481 期日8,800
5/21 (木) 弊社予想	500	▲7,000	▲6,500				0	▲6,500	20Y発行▲7,000
5/22 (金) 弊社予想	▲1,000	1,000	0				0	0	交付税借入▲11,000償還13,000

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれ、0.725～0.728%程度の出合いが中心と予想される。債券レポ GC T/N物のレートは、0.75～0.76%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、5月19日(火)に1Y物、5月22日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、五・十日発行を控えており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では19日(火)に1-3月期のGDP1次速報、3月の石油等消費動態統計、21(木)に小枝日銀審議委員 福岡県金融経済懇談会における挨拶、3月の機械受注統計、4月の貿易統計、22日(金)に4月の全国消費者物価指数などが公表予定である。海外では20日(水)に4月のユーロ圏消費者物価指数改定値、4月の英消費者物価指数、21日(木)に4月の米住宅着工件数などが公表予定である。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。